

2018年1月9日

書店各位

コンピュータ出版販売研究機構  
会長 岩切晃子

## 「コンピュータ書の棚を、今後いかに作るべきか？」 棚作り勉強会」のご案内

拝啓、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、コンピュータ出版販売研究機構の活動へのご理解に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、コンピュータ出版販売研究機構は、2016年好評だった書店様、取次様向けコンピュータ書勉強会を開催いたします。いよいよ、初等教育にコンピュータ教育が義務化される中、これからのコンピュータの進化と人のスキル全体を見据えた勉強会となるよう取り組む所存です。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、ご出席賜りますようご案内申し上げます

敬具

記

### ■会次第

- 特別講演：第4次産業革命時代に求められる人材育成のために

講師：文部科学省 生涯学習政策局 情報教育課 情報教育振興室長（併）初等中等教育局 視学官 安彦広斉様

- 棚分類コード2018年版改訂のポイントと棚作りについて（CPU棚分類委員会）

### ■東京会場

◆日時：2018年1月25日（木） 15：40 受付開始 16：00 開始（一時間半程度）の予定

◆場所：株式会社インプレス 23階 セミナールーム

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL：03-6837-4634（担当：インプレス 出版営業部 嘉藤）

### コンピュータ出版販売研究機構

加盟会社：（株）インプレス、SBクリエイティブ（株）、（株）技術評論社、（株）翔泳社、（株）マイナビ出版（以上5社）

ホームページ：<http://www.computerbook.jp> フェイスブックページ（仮運用中）：<https://www.facebook.com/computerbookjp/>

お問い合わせ先 e-mail：[cpu-honkai@googlegroups.com](mailto:cpu-honkai@googlegroups.com) ないしは加盟各社までお願い申し上げます

---

棚分類コード2018年版【東京会場】説明会 参加申込書(1/15 締切)

宛先：Fax:03-3556-2743（マイナビ出版）

貴店名：

---

ご出席代表者名前：

---

出席者合計数：計 名

Tel：

---

Fax：

---

## CPU2018 新年会のご案内

2017 年は大変お世話になりました。

2018 年も書店様・取次様の皆様とコンピュータ書の販売を盛り上げるべく、CPU 新年会を開催します。  
棚分類コード説明会の後の開催となりますので、ぜひご参加ください。

### ◆会場

神保町 みさち屋

住所: 東京都千代田区神田神保町 1-1-17 東京堂神保町第 3 ビルディング B1

電話: 03-5577-4621

書店様・取次様参加費: 1000 円(当日受付でお支払いください)

開始: 2018/1/25(木)18 時～

出席のご連絡は 1/15(月)までに CPU 会員各社の担当営業までお願いいたします。

お問い合わせ: [cpu-honkai@googlegroups.com](mailto:cpu-honkai@googlegroups.com)

## コンピュータ出版販売研究機構のご紹介

「コンピュータ出版販売研究機構」は、1989 年 11 月設立の「コンピュータ出版販売研究会」が前身となります。コンピュータ書販売のインフラ作りと販売効率の向上をめざす出版社が集まり結成されました。

設立当初、書店店頭にはコンピュータ書というジャンルはなく、主に「電子情報」の棚にまとめて置かれていました。急激なパーソナルコンピュータの普及に合わせて、コンピュータ書の新刊発行点数も圧倒的に増加するという状況の中で、早急に書店店頭でのコンピュータ書の整備の必要に迫られました。

会が真っ先に取り組んだのが、棚分類コードの確立でした。混乱した棚の整理と、コンピュータの知識がない方でも、きちんとジャンル別に商品を配列ができるように、分類コード体系を整え、関連出版社に働きかけて、分類コードを理解し採用してもらい、売上スリップに表示することを徹底し、かなりの社にご協力いただきました。(現在約 8 割の出版社で採用され、業界のスタンダードになっています) 全国の書店様また取次社様には、主要都市で説明会を開き、趣旨を理解し有効利用していただけるよう働きかけをしました。このような活動のお陰で、書店店頭にはきちんとしたコンピュータ書の棚を確立することができました。

「コンピュータ出版販売研究会」は 1998 年 10 月にその役割を終え一旦解散し、1999 年 6 月に新たなメンバーのもと、「コンピュータ出版販売研究機構」(CPU)として新しいスタートを切りました。

私たち「コンピュータ出版販売研究機構」は、今後もコンピュータ出版物のインフラの整備を最大のテーマとして、その活動をさらに推し進めてまいります。